

東北福祉大学通信制大学院

募集要項 2024

出願期間 (4月入学のみ)

I期 2023年10月16日(月)～11月21日(火)必着

II期 2024年1月15日(月)～2月14日(水)必着

※くわしくはP.19をご参照ください。



【JR仙台駅から】

- 2階東西自由通路から東口へ。宮城野通を進んですぐ左側
- 東西地下自由通路を東口方面へ。「出入口1」から地上に出てすぐ

【地下鉄東西線 宮城野通駅から】

- 「北1口」から地上に出てすぐ。交差点の左前方



東北福祉大学 通信制大学院事務室

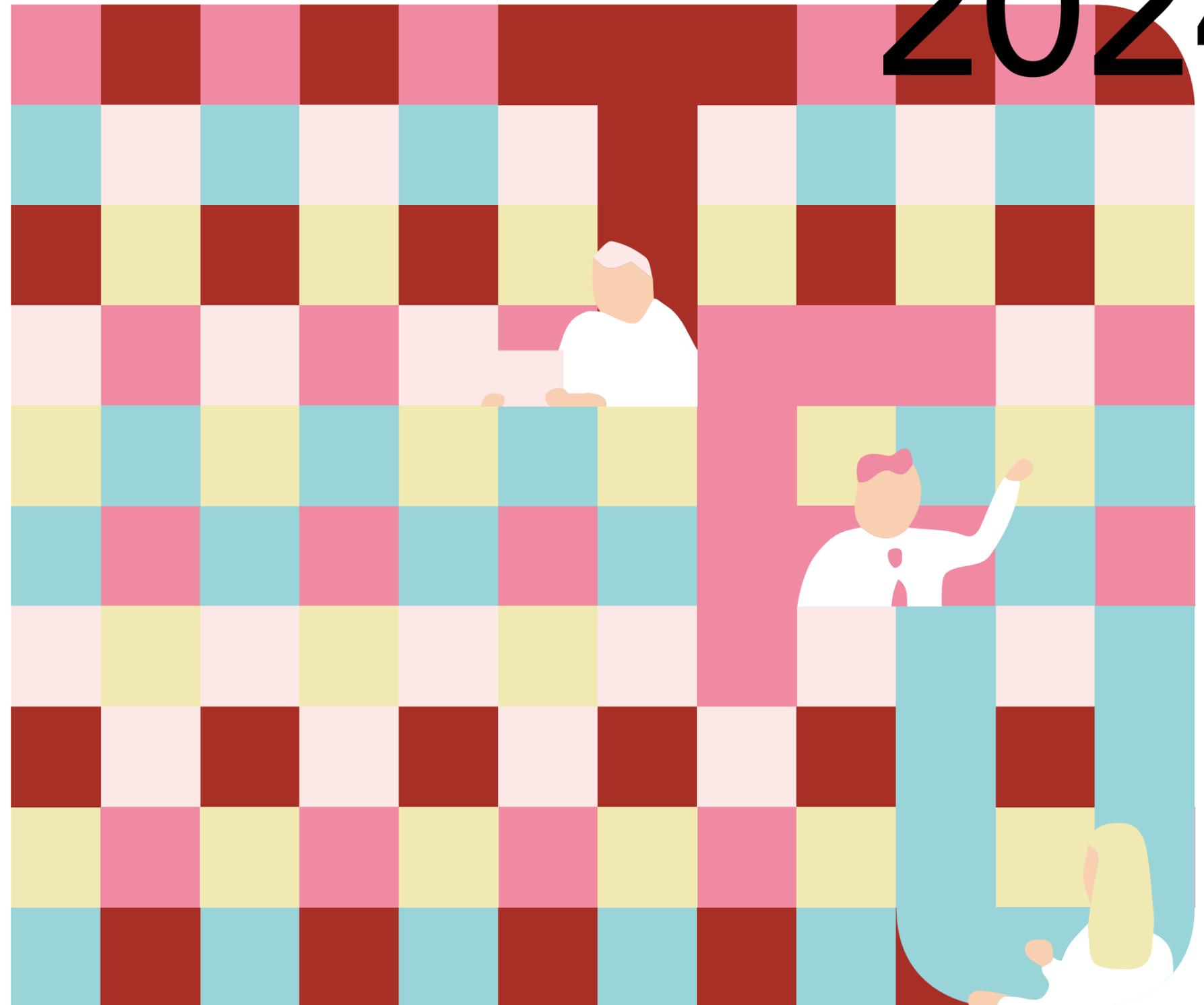
〒983-8511

仙台市宮城野区榴岡 2-5-26 3階

TEL.022-292-8011 FAX.022-292-8012

Email tsukyo@tfu.ac.jp

<https://www.tfu.ac.jp/tushin>



入学案内

建学の精神・教育理念	2
履修方法	4
社会福祉学専攻	6
福祉心理学専攻	10
修了生の声	14
正科生学費	16
よくあるご質問	17

2024年度 正科生募集要項

募集する専攻および入学定員・募集人員	18
出願資格	18
出願から入学までの流れ	19
出願書類一覧	20
選抜方法	21
入学試験	21

入学試験過去問題	22
----------	----

3つのポリシー	24
---------	----

「研究指導」「研究演習」「特別研究」授業概要	29
------------------------	----

2024年度 科目等履修生募集要項	32
-------------------	----

履修証明プログラムのご案内	36
---------------	----

出願書類様式	41
--------	----

大学院をめざす方へのメッセージ

研究は楽しいです。

目の前で起きている複雑な事象を量的分析法で紐解く、一人ひとりの経験を質的分析することによって、新たな概念が抽出されます。

自然科学領域の研究のように明解な答えを得ることはできませんが、問題を分析し、解決法を考え、その評価を積み重ねることによって、徐々に目の前が晴れてくるような経験ができます。

総合福祉学研究科長

三浦 剛



総合福祉学研究科 3つのポリシー（抜粋）

アドミッション・ポリシー

すべての人がよりよく生きること (well-being) を可能にする共生社会の実現に寄与したいという熱意を持ち、社会福祉学、福祉心理学の知識・技術を高めるための研究する力、実践する力を身に付けたいという方の入学を希望します。

カリキュラム・ポリシー

共生社会の実現と人類の福祉へ貢献する人材の養成という本研究科の教育研究上の目的の下、社会福祉学と福祉心理学に関する高度な専門知識・技術と、その基盤となる理論を学修します。社会と人間にかかわる諸問題に対する視点、その解決のための方策を理論的に学修し、修士学位請求論文としてまとめます。

ディプロマ・ポリシー

現代社会とそこで暮らす人々が直面するさまざまな問題を発見、解決し、共生社会の構築をめざすための研究能力、高度な専門性を有すると認められ、修士学位請求論文の最終試験に合格した人に「修士（社会福祉学）」および「修士（福祉心理学）」を授与します。

※各専攻のアドミッション・ポリシー等は、P.24～28をご参照ください。

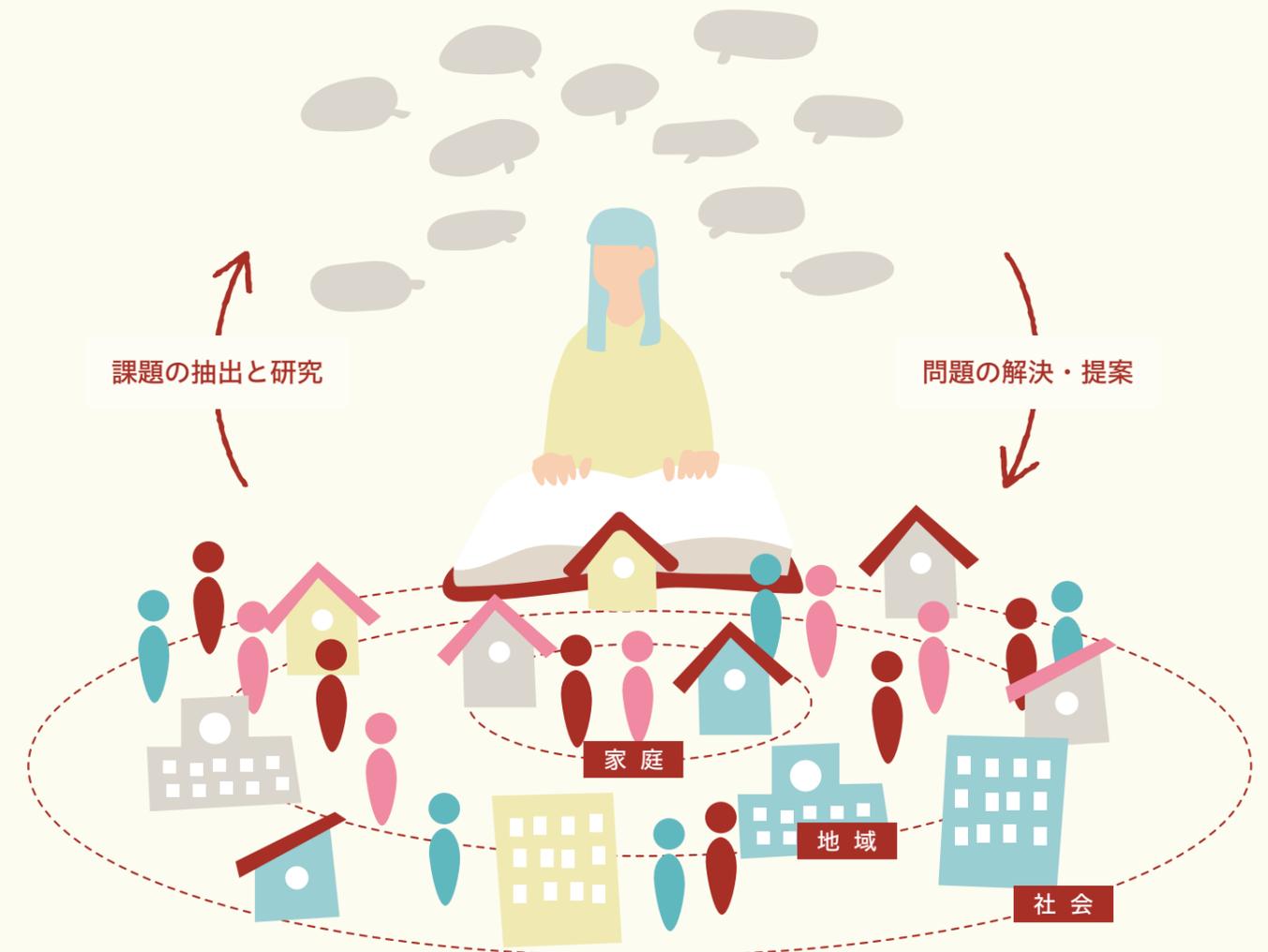
あなたの研究心を あなたの力に

東北福祉大学は、明治8(1875)年創立の曹洞宗専門支校が前身です。
昭和37(1962)年に4年制大学となり、
日本の福祉を第一線で担う有為な人材を社会に送り出してきました。
「行学一如」を建学の精神とし、学問研究と実践の調和をはかる人材育成をめざしています。
通信制大学院は、2002年4月に開設されました。
東北初の大学院通信教育として、高度専門職業人の育成をめざしています。

わが国の人口の減少、少子高齢化の進行、地域のつながりの希薄化などにより、
私たちの直面する問題は複雑化、多様化しています。
このような社会問題に対し、2017年、政府は「我が事丸ごと地域共生社会づくり」を目標に掲げ、
地域福祉の理念を推進し、地域での課題に対応する相談支援体制の構築をめざしました。
2020年には、地域共生社会の実現に向けて、社会福祉法等の一部が改正されました。
地域での私たちの生活課題を解決するため
包括的な支援体制の整備がさらに強化されることとなります。

包括的な支援体制において必要とされるのは、
社会を変革していこうとする視点と、その中で支援を必要とする人々への
かわりの専門性ではないでしょうか。
社会福祉の価値に支えられた支援理論や、心理学的知見に基づく対人援助が、
これまで以上に求められています。

建学の精神に「行学一如」、教育理念に「自利・利他円満」を掲げる
本学の通信制大学院では、そうした社会的要請に応えるために、
社会や地域、家庭での課題を抽出し解決策を導く力、
いわゆる「研究する力」が問題解決に有効であると考え、
職業人としての経験を理論づけたい、新たな問題解決をめざし研究したいと考える方々に、
より高い専門性や研究力を身につける場を提供いたします。



より深く福祉や心理を学んだ人材は、
あらゆる現場で、その力を発揮します。

履修方法

自らの日々を大切にしながら研究したい方に、
学修しやすい環境を提供しています。

スクーリングは、多くの科目でインターネットを利用して開講しています。
履修方法「R」科目の単位修得試験は自宅で行うレポート形式です。



履修方法 SR テキストによる学修とスクーリングによる学修を併用

- 1) スクーリング前に課題に取り組み、事前または当日に提出。
- 2) スクーリング形態は科目により異なり、動画+リモート or 対面の混合型、全コマ対面で日程が連続する集中型・分割する分散型がある。形態により対面 1~3日間のスクーリングに出席。一部科目では通学授業(動画)を視聴し質疑応答をリモート or 対面で行う通学並行型を実施。
- 3) スクーリング受講後、事後課題のレポートを提出(4,000字程度)。
- 4) 両専攻で単位修得が必須となる研究法に関する科目のスクーリングは、下記のとおり受講。
 - 社会福祉学専攻「修士論文研究計画法概論」：自宅で動画視聴+リモート1~2日間受講
 - 福祉心理学専攻「福祉心理学研究法特論」：自宅で動画視聴+本学で2日間受講(実技含む)
- 5) 社会福祉学専攻の必修科目「研究指導(論文指導)」は、通学課程と合同の研究発表会を実施。



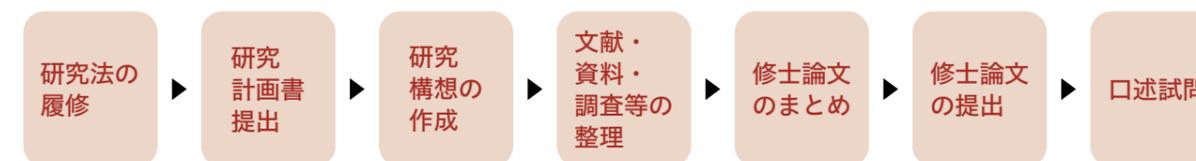
履修方法 R テキストによる学修(福祉心理学専攻のみ)

- 1) 規定の2課題についてレポート(1課題4,000字程度)を提出。
- 2) 2課題のレポートに合格した後、自宅で単位修得試験を受験。
- 3) 修了までに必修科目2単位と選択講義科目16単位の修得が必要。



修士論文(正科生のみ)

- 1) 論文提出の「前年度に」各専攻の研究法に関する科目の単位を修得。
- 2) 社会福祉学専攻：1年目の6~7月に具体的な研究計画書を提出し、演習担当教員を決定。
福祉心理学専攻：1年目の9月に具体的な研究計画書を提出し、指導教員を決定。
- 3) 社会福祉学専攻：1年目に「修士論文研究計画法概論」「社会福祉学研究演習I」の単位を修得。「研究指導(論文指導)」の前半を受講。
福祉心理学専攻：1年目に「福祉心理学研究法特論」および演習科目を含む12単位を修得することで、2年目に修士論文作成が可能。
- 4) 社会福祉学専攻：1年目に修士論文構想発表会、2年目に中間報告会・最終報告会で発表(リモート可)。
福祉心理学専攻：論文を提出する年度に「構想」「文献や資料・調査等の整理」「まとめ」の3つの段階で、レジュメ提出。指導教員の判断のもと、最低3回の面接指導(本学+1~2回リモート)や通信指導(メールや郵送)を受け、まとめる。面接指導日程は、教員と調整することができる。
- 5) 最終試験となる口述試問(本学)を受ける。



正科生 修了要件

- 1) 修業年限：2年
最長在学年限：4年(最長休学期間2年を含まず)
- 2) 各専攻で定められた30単位を履修し、修士論文を提出・合格し、かつ最終試験(口述試問)に合格。

社会福祉学専攻

授与学位 修士（社会福祉学）



児童、高齢の方、身体や精神に障がいをもつ方の心理や行動、介護のあり方等ミクロ面から、地域福祉や社会保障、福祉政策等マクロ面まで、幅広い分野での研究指導体制が整っています。社会福祉に関する分野の理論、制度・政策、実践を修得し、諸問題を解決するための研究力や実践力を身につけます。

主な担当教員（五十音順） >>> 教員紹介は本学ホームページで詳しく掲載しております。

大島 巖 先生
(副学長)
専門
ソーシャルワーク/精神保健福祉論/福祉プログラム開発と評価

制度のはざまに苦しむ人々(精神障害のある人々等)への有効な支援サービスの開発のあり方を、福祉プログラム開発と評価の観点から皆さんと一緒に考えたいと思います。代表著書:『マクロ実践ソーシャルワークの新パラダイム〜エビデンスに基づく支援環境開発アプローチ:精神保健福祉への適用例から』有斐閣(単著)

三浦 剛 先生
(研究科長)
専門
障害者福祉/社会福祉調査

障がい児者の地域生活支援、社会福祉実践の評価と数値化、社会福祉専門職養成・研修等の研究をしています。著書・論文:『発達障がい児の早期療育システムにおける保健とソーシャルワーク—職種間連携と発達支援としての統合—』日本保健福祉学会誌、2013 他

石附 敬 先生
(専攻主任)
専門
高齢者福祉/社会老年学

重度要介護高齢者の在宅支援、認知症ステイグマの低減方策など、高齢者福祉領域における利用者や家族支援に関する研究に取り組んできました。著書・論文:『地域包括ケアにおける重度要介護高齢者の支援』日本老年社会学会、2018 他

阿部 裕二 先生
専門
社会保障/公的扶助

国民の生活問題に視点をあきつつ、社会保障の体系化や総合化、多様化する貧困概念と生活実態に即した生活困窮者支援のあり方、地域における居場所づくりなどをテーマに研究を進めています。著書・論文:『格差社会論(第3版)』同文館、2023 他

加藤 伸司 先生
専門
認知症ケア/高齢者心理学

認知症ケアに係る諸問題(BPSD、家族支援、権利擁護、地域支援等)について調査研究事業、教材開発、研修企画の他、高齢者虐待防止に関する調査研究を行っています。著書・論文:『老年臨床心理学の可能性と課題』老年臨床心理学研究、2019 他

菅原 好秀 先生
専門
権利擁護と法/リスクマネジメント

意思決定支援など利用者の「権利擁護に必要な法制度」、介護事故など利用者の「リスクマネジメント」をテーマに研究しています。代表著書・論文:『リスクマネジメントと法』建帛社(単著)、2020 他

高橋 誠一 先生
専門
地域福祉/福祉経済

小規模多機能事業の運営と住民の地域福祉活動、情報技術の福祉への影響を研究テーマにしています。共著・報告書:『地域共生社会の実現に向けた包括支援体制構築に必要な緊急一時支援に関する調査研究事業』厚生労働省補助事業、2020 他

竹之内 章代 先生
専門
女性・児童・家庭福祉

認定社会福祉士制度スーパーバイザー。知的障がい児者の地域生活支援のため家族への視点や地域における支援システムの必要性について研究しています。著書・論文:『地域における多機関が連携した就学支援の実践』発達障害研究、2016 他

田中 治和 先生
専門
社会福祉学

社会福祉学及び社会福祉実践の本質的課題を継続的に考究しています。著書・論文:『社会福祉の人間観に関する批判的考察』『東北福祉大学仏教文化研究所紀要第1号』2019 他

田中 尚 先生
専門
ソーシャルワーク

認定社会福祉士制度スーパーバイザー。ソーシャルワーク理論における実践での応用とその評価に関する研究を行っています。著書・論文:『スクールソーシャルワークの展開の今日的意義』『岩手県立大学社会福祉学部紀要第15巻』2013 他

都築 光一 先生
専門
地域福祉論/災害福祉研究

住民主体の地域福祉活動と災害等非常時における福祉支援の実践のあり方、および大きく揺れ動くこの取り組みに対する地方福祉行政等の役割について研究しております。著書:『新たな地域福祉活動推進の方法』幻冬舎、2023

萩野 寛雄 先生
専門
政治学/社会福祉学

フィンランド福祉国家やイノベーションエコシステムを研究してきました。著書:『新世界の社会福祉 北欧』旬報社、2019『New Ways Of Promoting Mental Well-Being And Cognitive Function』(LAUREA、2018)

社会的ニーズに応えた多様な分野のカリキュラムで、福祉の現場における複合的な課題解決に向けて自らを高めていきます。

授業科目一覧 総計 30 単位以上修得 ※1

	授業科目	配当年次	単位数			履修方法 P.4 参照	備考
			必修	選択必須	選択		
研究指導科目	修士論文研究計画法概論 ※4	1 ※3	1			SR	4 科目 7 単位必修
	社会福祉学研究演習 I	1 ※3	2			SR	
	社会福祉学研究演習 II	2	2			SR	
	研究指導(論文指導) ※4	1・2	2			SR	
共通基礎科目 ※2	社会福祉原論	1・2		2		SR	1 科目 2 単位以上 選択履修
	ソーシャルワーク論 ※4	1・2		2		SR	
	ソーシャルワークリサーチ・研究方法論(実践研究・実証研究の方法)	1・2		2		SR	2 科目 4 単位以上 選択履修
	社会福祉歴史研究・学説史研究の方法	1・2		2		SR	
	情報解析方法論	1・2		2		SR	
	質的研究方法論	1・2		2		SR	
	福祉プログラム開発と評価 ※4	1・2		2		SR	
選択科目	生活困窮者支援と貧困研究 ※4	1・2			2	SR	9 科目 17 単位以上 選択履修
	社会福祉法制・権利擁護研究 ※4	1・2			2	SR	
	子ども・家庭と女性福祉研究 ※4	1・2			2	SR	
	高齢者福祉研究 I ※4	1・2			2	SR	
	高齢者福祉研究 II (認知症ケア研究)	1・2			2	SR	
	高齢者福祉研究 III (地域連携・多職種連携)	1・2			2	SR	
	障害者福祉研究 I ※4	1・2			2	SR	
	障害者福祉研究 II (基礎的理解と臨床)	1・2			2	SR	
	精神保健福祉研究	1・2			2	SR	
	医療福祉研究 I	1・2			2	SR	
	医療福祉研究 II (地域連携・多職種連携)	1・2			2	SR	
	地域福祉研究	1・2			2	SR	
	福祉経営・マネジメント研究 I	1・2			2	SR	
	福祉経営・マネジメント研究 II (リスクマネジメント研究)	1・2			2	SR	
	国際福祉研究	1・2			2	SR	
	災害福祉研究	1・2			2	SR	
	身体機能障害特論	1・2			2	SR	
特別研究講義 I	1・2			1	SR		
特別研究講義 II	1・2			2	SR		
実践事例検討とスーパービジョン	1・2			2	SR		

※1 修了要件は、研究指導科目 7 単位、共通基礎科目 6 単位以上、選択科目 17 単位以上で、合計 30 単位以上を履修すること。
 ※2 共通基礎科目で規定の単位以上修得した単位は、選択科目の単位数に含めます。
 ※3 1 年目に単位修得が必要です。
 ※4 認定社会福祉士研修認定科目です。
 ※上表について、科目によっては 2024 年度に開講されない場合があります。

修了までの流れ

全科目において担当教員の授業を行います。授業の方法^{*}は、主に自宅で受講できるオンデマンド(動画)と対面(会場またはリモート)を組み合わせた混合型の授業となります。

^{*}科目によりオンデマンドと対面のそれぞれのコマ数のバランスは異なります。

1年目 修士論文作成の準備期間。研究の方法を中心に学修します。

1年目は、スクーリングを受講し、レポートを提出します。教員や他受講生と話すことで、自らの研究について気づきがあったり、学修に対するモチベーションを保つことができたりします。また、修士論文作成のため、研究法に関する科目を履修します(詳細はP.4)。

〈1年目の例〉

4月	5月	6月	7月	8月	9月
入学式・ガイダンス ※出席任意	スクーリング(一部10~2月) ●「修士論文研究計画法概論」「社会福祉学研究演習Ⅰ」「研究指導(論文指導)」等を1年目に履修 ※オンラインによる授業・リモートなど				
履修登録		修士論文中間報告会出席			
教材配本		学位請求論文研究計画書提出	演習担当教員決定		
研究開始 ●科目のレポート作成・提出					
10月	11月	12月	1月	2月	3月
	修士論文構想発表会出席発表	修士論文最終報告会出席	研究倫理審査申請		
●科目のレポート作成・提出					

修士論文題目例

- 認知症グループホームにおける入居者本人の看取りの意思決定支援モデルの開発—認知症支援者へのインタビュー調査から—
- 日常生活自立支援事業における権利擁護の実践の考察—専門員の日々の活動を通じて—
- ひきこもり当事者を支える家族支援の考察—山梨県内の状況について—
- 不登校児童生徒や家族へのフリースクールのかかわりの現状と果たすべき役割に関する考察
- 精神障がい者を対象とした地域移行・定着支援の現状と、個別給付化の影響—岩手県内の指定一般相談支援事業所を対象とした実態調査から—



2年目 1年目での学修を活かし、修士論文を作成します。

2年目では、1年目で学修した研究指導や共通基礎科目を活かし、修士論文の作成を中心に、教員の指導のもと各自研究を進めていきます。研究の対象などにより研究倫理審査を受け承認を得る必要があります。修士論文報告会などで各自の研究について発表します(詳細はP.5)。

〈2年目以降の例〉

4月	5月	6月	7月	8月	9月
履修登録		スクーリング(一部10~2月) ●「社会福祉学研究演習Ⅱ」「研究指導(論文指導)」等を2年目に履修			
教材配本					
研究倫理審査申請		修士論文中間報告会出席発表			
10月	11月	12月	1月	2月	3月
修士論文構想発表会出席		修士論文最終報告会出席発表	修士論文提出	修士論文口述試問 ※1日	学位記授与式 ※出席任意

福祉心理学専攻

授与学位 修士（福祉心理学）

※臨床心理士・公認心理師の受験資格は取得できません。



心理的支援を必要としている人びとを援助できる人材の育成。さまざまな心理学領域の研究活動を通して、人間を理解し、支援する力を高めます。

さまざまな心理学の領域について、文献研究や演習を通して心理学理論の理解と問題解決・研究の力を高め、自らの研究課題について心理学の研究法に則り研究を進めます。これらの活動を通して、発達支援、コミュニケーション、こころの健康、学校・家庭教育、問題行動の生起や改善、高齢者の心理等広く学び、心理的支援を必要としている人びとに対して実践的に支援する知識と技術、考え方の修得をめざします。

修士論文題目例

- 介護福祉職の組織風土とセルフ・エフィカシーが職場の人間関係満足度に及ぼす影響
- 子どもの運動意欲を高める運動プログラムの作成と効果についての検討
- 「12のステップが育む心理」とは何かーアディクションからの回復と成長を続けるあるオールドタイマーとのダイアログを通してー
- 発達障害児支援における子どもの主体性を尊重する支援態度に関連する要因ー発達障害の知識、理想の子ども像、共感性からの検討ー
- 思春期青年期精神科デイケアの発達の間についての考察

主な担当教員（五十音順） >>> 教員紹介は本学ホームページで詳しく掲載しております。

佐藤俊人 先生
(専攻主任)
専門
発達心理学／福祉心理学

保健師、看護師、教諭、保育士、人事担当者などと連携した実務経験を踏まえ、心理学を広く人のウェルビーイングに応用する方略を検討しています。著書・論文：『現代と未来をつなぐ実践的見地からの心理学 改訂版』八千代出版、2019 他

加藤伸司 先生
専門
高齢者心理学／認知症ケア

認知症ケアに係る諸問題（BPSD、家族支援、権利擁護、地域支援等）について調査研究事業、教材開発、研修企画の他、高齢者虐待防止に関する調査研究を行っています。著書・論文：『老年臨床心理学の可能性と課題』老年臨床心理学研究、2019 他

武村尊生 先生
専門
臨床心理学／リエゾン精神医学

総合病院精神科や麻酔科・疼痛緩和における心理学的支援や、高度専門職種として心理職が果たすべき役割について研究を行っています。著書・論文：『精神科リエゾンチーム活動指針（日本総合病院精神医学会治療指針9）』星和書店、2019 他

中村 修 先生
専門
健康心理学

主に青年期から成人期への移行という発達の課題に対して、ストレス及びストレスコーピングという視点から理解を深めようとしています。著書・論文：『現代と未来をつなぐ実践的見地からの心理学 改訂版』八千代出版、2019 他

中村恵子 先生
専門
学校心理学

不登校に対する別室登校法の開発が研究テーマです。インタビュー調査での質的研究からモデル生成を行います。著書：『不登校支援の学校心理学プラクティス：学校と適応支援教室で活用する集団社会化療法と別室登校法』ナカニシヤ出版、2022 他

半澤利一 先生
専門
司法・犯罪心理学／臨床心理学

司法・矯正・更生保護領域や保健福祉領域など、人と社会が関わる場面における理解や心理・社会的支援についての効果的な方法を研究しています。著書・論文：『現代と未来をつなぐ実践的見地からの心理学 改訂版』八千代出版、2019 他

平川昌宏 先生
専門
発達心理学

「気になる」子や障がい児に対する保育、さらにはそのような子どもたちも含めたクラス作りの支援や子どもの描画活動とその発達に関してシンボル発達の観点から研究を行っています。著書・論文：『シードブック 保育の心理学』建帛社、2019 他

吉田綾乃 先生
専門
社会心理学

対人コミュニケーションにおける情報処理過程とワーキングメモリ容量の関連について研究を行っています。論文：The role of working memory capacity in out-group rejection after media exposure to terrorism threat.(The SPSP 20th Annual Meeting, 2019) 他



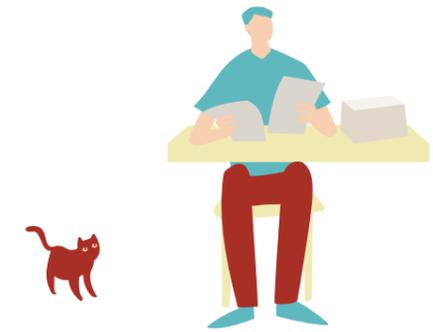
授業科目一覧 総計 30 単位以上修得

授業の科目名と概要	担当教員名	配当年次	単位数		履修方法 P.4 参照
			必修	選択	
【必修科目】 12 単位必修					
福祉心理学特論 レポート 2 本+在宅レポート試験で単位修得 福祉の現場において心理的支援を考える際に重要になる「対象者の無気力状態」の発現のメカニズムを理解し、その予防と具体的な対処法を修得する。	佐藤俊人	1・2	4		R
福祉心理学研究法特論 レポート 2 本+スクーリング（自宅+動画+本学で実技 2 日間）で単位修得 心理学に関する研究課題を自ら設定して心理学研究法を用いて研究を進めていくために必要な知識・技術を修得する。	中村 修	1・2	2		SR※1
福祉心理学特別研究（修士論文作成） レジュメ提出3回+面接指導3回（本学・1~2回リモート）+通信指導+修士論文提出+口述試問で単位修得 原則として、履修した選択演習科目に対応した各自の研究テーマや問題意識を研究に結びつける。先行研究の文献研究により扱う要因を整理し、仮説を立て、それに応じて実験、調査、面接や観察等の手法を通してデータを収集して統計的分析をした上で考察する。何らかの問題を抱えている人に対する心理的支援を考える場合に、実学的な提案に結びつくように、結果や考察をどのように応用できそうかを考えながら研究計画を立てる。詳細は P.30 ~ 31 を参照。	演習科目 担当教員	2	6		SR
【選択講義科目】 レポート 2 本+在宅レポート試験で単位修得 16 単位以上選択履修					
心理学的な理論と支援 文献研究を通して、福祉、教育、医療、司法をはじめ、日常生活の中で心理学理論がどのように関連づけられているかを学び、問題意識を高めると同時に、演習科目、特別研究への関心を高める。7 つの心理学領域に関する講義が準備されている。それぞれの領域における研究テーマはおおよそ以下のようなものである。					
心理学的な理論と支援（発達心理学）	発達心理学の基礎的理論と知見の理解と応用	平川昌宏	1・2	4	R
心理学的な理論と支援（学校・教育心理学）	学校臨床の実践的課題の理解と問題解決理論の修得	中村恵子	1・2	4	R
心理学的な理論と支援（社会心理学）	社会的認知の観点に基づく人間行動の理解	吉田綾乃	1・2	4	R
心理学的な理論と支援（臨床心理学）	力動的心理療法の過程とその背景となる理論を理解する	武村尊生	1・2	4	R
心理学的な理論と支援（健康心理学）	健康をもたらす要因は何か：個人特性と環境要因、及びそれらの相互作用	中村 修	1・2	4	R
心理学的な理論と支援（司法・犯罪心理学）	司法・犯罪心理学の視点	半澤利一	1・2	4	R
心理学的な理論と支援（高齢者心理学）	生涯発達心理学の視点から高齢者や認知症者に関連する理論と全人的ケアの実践を理解する	加藤伸司	1・2	4	R
【選択演習科目※2】 事前課題+スクーリング 3 日間受講+事後レポート提出で単位修得 2 単位以上選択履修					
心理学的な支援と応用演習 選択講義科目のそれぞれの心理学的領域に対応した演習科目であり、スクーリングを通して自らの問題意識、研究テーマを深めるものである。心理学的支援の実例等に触れながら心理学の応用可能性について学ぶ。この演習科目は特別研究へつながるものである。それぞれの心理学領域での研究対象はおおむね以下のようなものである。					
心理学的な支援と応用演習（発達心理学）	発達心理学の知見を子どもの養育とその支援に活用する	平川昌宏	1・2	2	SR
心理学的な支援と応用演習（学校・教育心理学）	学校臨床の起因と解決方法を考察する	中村恵子	1・2	2	SR
心理学的な支援と応用演習（社会心理学）	社会心理学の観点から現代社会における諸問題の生起メカニズムならびに解決法について考える	吉田綾乃	1・2	2	SR
心理学的な支援と応用演習（臨床心理学）	心理面接法の理論と実践 一事例研究法を中心にー	武村尊生	1・2	2	SR
心理学的な支援と応用演習（健康心理学）	行動変容を促進する効果的な方法について考える	中村 修	1・2	2	SR
心理学的な支援と応用演習（司法・犯罪心理学）	司法・犯罪心理学の知見と臨床心理学の方法による人間理解と支援	半澤利一	1・2	2	SR
心理学的な支援と応用演習（高齢者心理学）	加齢による心理的变化、認知症のアセスメント、支援方法と支援にあたる態度と高齢者の心理学的研究方法を理解する	加藤伸司	1・2	2	SR

※1 修士論文を作成する前年度（通常 1 年目）に単位を修得する必要があります。
※2 演習科目は同じ分野の講義科目を履修し特別研究（論文作成）に結びつけます。

修了までの流れ

通信制は在宅での学修が中心になるため、学修のペースがつかみにくいものです。そのため、入学式当日に、レポートや研究の進め方、図書館の利用法等についてガイダンスを行います。



1年目 修士論文作成の準備期間。科目の課題を中心に学修します。

1年目は、レポートを提出するほかに、スクーリングを受講します。教員や他受講生と話すことで、自らの研究について気づきがあったり、学修に対するモチベーションを保つことができたりします。また、修士論文作成のため、各専攻の研究法を履修します（詳細はP.4）。

〈1年目の例〉

4月	5月	6月	7月	8月	9月
入学式・ガイダンス ※出席任意	スクーリング（一部10～11月） ※「演習」科目を本学で最低1科目2～3日間 ※「福祉心理学研究法特論」自宅動画 + 本学で実技2日間				
履修登録					
教材配本					
研究開始 ●科目のレポート作成・提出					
					学位請求論文研究計画書提出
10月	11月	12月	1月	2月	3月
指導教員決定					
●科目のレポート作成・提出					
					修士論文 通信指導

2年目 1年目での学修を活かし、修士論文を作成します。

2年目では、1年目で学修した研究法や科目の課題を活かし、修士論文の作成を中心に、教員の指導のもと各自研究を進めていきます。研究の対象などにより研究倫理審査を受ける必要があります。3回のレジュメ提出などで各自の研究について発表します（詳細はP.5）。

〈2年目以降の例〉

4月	5月	6月	7月	8月	9月
履修登録	スクーリング（一部10～11月）				
教材配本	修士論文 通信指導				
修士論文 面接指導 ※1回目(1日)					修士論文 面接指導 ※2回目(1日)
修士論文構想レジュメ提出 ●論文の目的・方法について					
研究倫理審査申請					
					修士論文 第1回中間レジュメ提出
10月	11月	12月	1月	2月	3月
修士論文 面接指導 ※3回目(1日)			修士論文 提出	修士論文 口述試問 ※1日	学位記授与式 ※出席任意
修士論文 第2回中間レジュメ提出	修士論文 通信指導				

修了生の声

社会福祉学専攻



修了生(2022年度修了)

大村亜沙美さん 社会福祉士(宮城県在住・30歳代)

医療ソーシャルワーカーとして実践する中で多くの疑問や課題を感じるようになり、それらを解決したいという気持ちが入学のきっかけです。私は通常の業務と育児の両立が必要であったことから通信制大学院を選択しました。大学院では現場経験だけでは培うことのできない理論や知識を改めて学び直し、「研究する力」を学ぶことができました。多くの方に支えられ修了できた経験を糧に、これからも研究を継続し、現場に還元したいです。

福祉心理学専攻



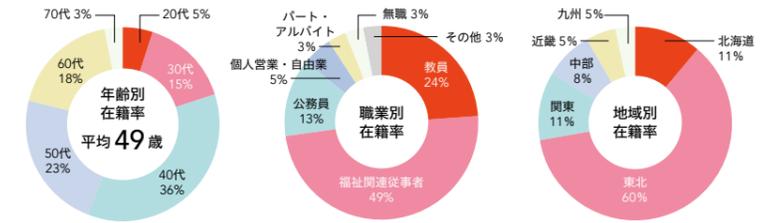
修了生(2022年度修了)

堤 照美さん 法務教官(埼玉県在住・30歳代)

前職、精神保健福祉士として、支援を行う中、これまでの面接方法やアセスメント等に、本当にこれでもいいのだろうか不安と疑問を持ち始め、答え合わせをしたいと思います大学院進学を決めました。レポートに取り組むことで自身の頭の整理ができ、担当教授からのコメントを通し、答え合わせを行い、自信を取り戻すことができました。更に、視野が広がったことで、法務教官に就くきっかけを得ました。知識を得ることは、自分自身のためだけではなく、少年院在院者へも伝達することができ、お互いに選択肢が増えると考えています。だからこそ、今後も考え、学び、現場へと繋げていきたいと思っています。

年齢・地域を問わず、多領域の方が学んでいます。

修了率 69.8%



自分の中に新たなものの見方や考え方ができました

教育現場では、社会全体で子供の学びを支えるために他職種連携が求められています。長年教員として勤務してきましたが、教育以外の視点を持ちたいと思い入学しました。社会福祉学を学ぶことで自分の中に新たなものの見方や考え方ができ、既存の知識や経験だけでは解決できない課題についても柔軟に考えられるようになったこと、毎日の実践に自分なりの軸ができたことは私にとって大きな財産です。

(宮城県在住・50歳代・小学校教頭/女性)

「問いを続け、学ぶこと」

「自分の援助は本当にこれでいいのだろうか?」と、自分に問い続けた結果、通信制大学院に目が向きました。無事修了しましたが、未だに実践の中で悩むことは尽きません。今に活かされていることは「問いを続け、学ぶこと」です。悩み続ける今、問いをたてなくなったら終わりだと考えるようになりました。大学院での学びで、自分の人生観や人間観まで変わりました。皆さんも是非そんな体験をしてみてください。

(宮城県在住・40歳代・社会福祉士/男性)

実践の理論化を図るために大学院に進学しました

私は、教育分野でのソーシャルワーカーとして活動していますが、経験を重ねるほど「これで良いのだろうか」という疑問や困難さを感じるようになり、実践の理論化を図るために大学院に進学しました。日々の実践と修士論文作成という同時進行の作業は厳しいものでしたが、2年間で修了できた喜びは確実に強さと自信になっています。現在は、実践と大学の非常勤講師として次世代の育成にも関わっています。

(東京都在住・50歳代/女性)

「戸惑い」や「問いかけ」への自分なりの解を求め進学

対人援助職として経験を重ね続ける中、いつしか、鬱積したものの重みに戸惑いを覚えるようになっていました。と同時に、なぜ鬱積するのかへの問いそのものを、自分自身に課すようになっていました。そうした「戸惑い」や「問いかけ」への自分なりの解を求め、大学院に進みました。結果、大学院での学びは、求めていた解のみではなく、自分自身の新しい生き方を力強く後押しする掛け替えのない経験となりました。

(栃木県在住・50歳代・精神保健福祉士/男性)

専門職として成長するために「研究」を学び直したい

長い間心理職として児童発達や発達障害分野で活動しています。今後より理論的根拠に基づいた支援を行うため、また自分の実践を客観的に評価し専門職として成長するために改めて「研究」を学び直したいと思い大学院に再入学しました。私のように既に資格があり、仕事を続けながら学びたい者にとって通信制のこの専攻は最良の場でした。レポートへの取り組みを通じて既存の知識や実践を振り返ることが出来たのも非常に良かったです。

(宮城県在住・40歳代・公認心理師/女性)

総合的に考えること、いろいろな視点から物事を見ること

大学・大学院と通信教育で学び、心理学の基礎とそれを人々の生活に活かすための応用力を取得することができました。カウンセリングの仕事をするうえで、総合的に考えること、いろいろな視点から物事を見ること、まとめる力、書く力、学びが様々な場面で活かされていると感じています。

(宮城県在住・40歳代/女性)

正科生 学費

入学検定料

	金額
入学検定料	30,000円 (*本学卒業生等 15,000円)

※出願時に料金分の普通為替証書(郵便局で購入)を提出書類に同封。

最短の2年間で修了するための総費用 82万円(本学卒業生等 77万円)

	入学1年目	入学2年目
入学金	100,000円 (*本学卒業生等 50,000円)	—
授業料	300,000円	300,000円
施設設備費	50,000円	50,000円
厚生費	10,000円	10,000円
合計	460,000円 (本学卒業生等 410,000円)	360,000円

※入学手続き期間内(2年目以降は一定期間内)に一括納入。 ※スクーリング受講料、教科書代を含む。

*本学卒業生等とは、以下の方をいいます。

- ①本学学部を卒業後直ちに本学大学院に進学した方
- ②本学学部又は大学院を過去に卒業又は修了した方
- ③本学で現に雇用されている常勤の教職員
- ④本学の関連法人(社会福祉法人東北福祉会及び医療法人社団東北福祉会)の職員であり、関連法人から、リーダー養成の一環として推薦された方
- ⑤本学学生の実習受け入れ等に協力することについて本学との間で協定を締結した施設や団体の職員であり、当該施設等からリーダー養成の一環として推薦された方
- ⑥現に福祉や医療等の現場で仕事に携わっており、キャリア形成のため、本学大学院の科目等履修生となり、スキルアップ講座又は履修証明プログラムに参加した方

奨学金制度について

●独立行政法人日本学生支援機構

経済的理由により修学に困難がある優れた学生に対し、学資として奨学金を貸与するものです。第一種(無利子)・第二種(有利子)の奨学金を受けることができます(学生の申込みに基づき選考を行い、採用の可否が決定されます)。

●本学独自の給付型(返還不要)

入学後(1年以上在籍している方)の成績優秀者かつ経済的理由のため学資の支弁が困難な方を対象とした制度になります。

学費の分割納入について

オリコ(株式会社オリエントコーポレーション)の「学費サポートプラン」のご利用が可能です。詳しくはオリコ Web サイトにてご確認ください。

●Web: オリコ学費

検索 > オリコ学費サポートプラン > 東北福祉大学 通信課程

よくあるご質問

Q 福祉または心理系の大学卒でなくとも出願可能ですか？

A 出願可能です。例えば法学部卒で社会福祉学専攻に入学のケースがあります(福祉心理学専攻でも同様)。

Q 教科書代・スクーリング受講料は別に必要ですか？

A 各科目の教科書代金・スクーリング受講料は、学費の中に含まれています。

Q 修了までに、来校は何回必要ですか？

A 社会福祉学専攻

- 全ての科目でスクーリング(オンデマンドと対面の混合型)があり、多くの科目で会場での授業が1日あります。ですが、科目によっては、対面授業は全てリモートで受講可能な科目、会場での授業が2日間の科目がありますので、選ぶ科目によって来校の回数は異なります。
- 「研究指導(論文指導)」科目は、1年生で3回、2年生で4回対面授業が必須ですが、リモートでの受講が可能です。

福祉心理学専攻

- 5回を基本として受講する科目数やスクーリングの開講形態および面接指導等のリモート数により変動します。例として下記をご参照ください。
1年目: 研究法の科目2日間(1回)、演習科目2~3日間(連続の場合1回)
2年目: 面接指導(リモート2回・対面2回の場合)2日間(2回)、口述試問1日(1回)

Q JRを利用する場合、学割は利用できますか？

A 通信制大学院の学生に対する学割証(乗車区間が片道100kmを超えるJR線を利用する場合に、乗車券を2割引で購入できる割引証)は、スクーリング・面接指導・口述試問等学校行事に参加する場合に発行できます。

認定社会福祉士研修認定科目について

社団法人認定社会福祉士認定・認定機構による認定社会福祉士制度に対応して、授業科目の一部を認定社会福祉士研修認定科目(P.7参照)として開講しています。科目認定には入学前に社会福祉士資格並びに社会福祉士としての実務経験(本学通信制大学院HP参照)を有する必要があります。

通信制大学院科目等履修生について

本学通信制大学院で開講の科目を1科目から履修が可能です。認定社会福祉士研修認定科目や、一部の公開講座等について、本学通信制大学院で修得した単位として認定します。概要についてはP.32をご参照ください。

【通信教育部科目等履修生制度について】

ご入学後、本学通信教育部(4年制大学)の科目等履修生として、大学の学修を補填することができます(入学金免除・一部提出書類免除)。例えば研究の基礎となる「社会調査の基礎」や「心理学概論A」「心理学研究法A」など、多くの科目でオンデマンド・スクーリングの受講が可能です。

